Creative Enzymes®

ネイティブ大腸菌アルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-0056

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
用途	アルカリフォスファターゼは、ELISA、ウエスタンブロッティング、および組織化学的□出のために抗体や他のタンパク質への結合に使用されます。高感度が要求される場合には、タンパク質ラベリングにも使用されることがあります。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

由来	大腸菌
形態	2.6M硫酸アンモニウムの懸濁液、pH 8.0。
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
活性	タイプI、>30ユニット/ mgタンパク質; タイプII、>20ユニット/ mgタンパク質; タイプIII、>10ユニット/ mgタンパク質。
単位定義	1ユニットは、25°C、pH 8.0で1分間に1μmoleのp-ニトロフェノールリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C